

## 社 内 ニ ュ ー ス TOPICS

### 0.07ミクロンの微粒子計測—4メガLSI工程に対応—神鋼ファウドラが新装置

**New micro-particle analyzer applicable for 4 gabit LSI production has been developed, which capable for detecting 0.07  $\mu\text{m}$  microparticles.**

当社は光学機器、医薬品メーカーの興和と共同で、超純に含まれる最小0.07ミクロンまでの微粒子をオンラインリアルタイムに計数できる「超微粒子計測装置」を完成し

4メガビットクラスまでの超LSI（大規模集積回路）の製造工程で使われる洗浄水の水質管理、あるいは超純水装置自体の集中監視や制御にも最適であり、12月4日から東京で開かれる「セミコン・ジャパン'86」へ出展、早々からの本格販売を目指している。価格は約800万円で年間50台の販売を見込んでいる。

従来0.1ミクロン程度の微粒子測定は電子顕微鏡で長時間かけて行っていたが、同装置では短波長アルゴンレーザーによる90度散乱法を採用。超純水中の微粒子をオンラインで連続的に計測し、0.07—0.1ミクロン、0.1—0.15ミクロン、0.15—0.2ミクロン、0.2ミクロン以上と4つの粒径分で、それぞれの粒子数をデジタル表示するもの。

（日刊工業新聞 '86年11月25日）

### 生酒用に濾過装置開発—清酒のたんぱく質75%除去

**The ultrafiltration equipment for non-pasteurized sake has been developed which removes 75% protein in the sake.**

当社はダイセル化学工業と共同で清酒中のたんぱく質、糖類を除去して生酒をつくる濾過装置を開発した。加熱処理をしないで済むのでより良質の清酒づくりに役立つとみている。

この装置にはダイセル化学製の特殊な濾過膜（ポリエーテルサルホン製中空糸モジュールの限外濾過膜）を使用。他に当社が独自開発した特殊表面処理技術などを組み合わせた。たんぱく質、酵素類の除去率が75%以上あるの生酒に「火入れ」処理をしなくても常温流通できる。このほか①膜の材質が食品衛生上問題なく、清酒に影響ない ②装置から鉄イオン溶出がほとんどない。③処理コストが安価 ④保守管理が容易——などの特長を持っている。

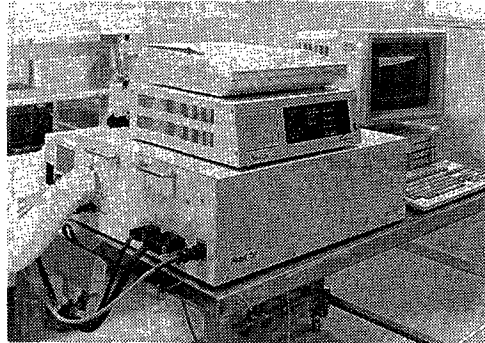
この濾過装置は生酒製造だけでなく良質のワインづくりに有用物質回収・不要物質除去などの用途にも使えたと述べている。装置の規模は1時間当たり400リットルと800リットルの2機種あり、価格は400リットルのもので2500万円程度を予定している。

（日経産業新聞 '86年11月28日）

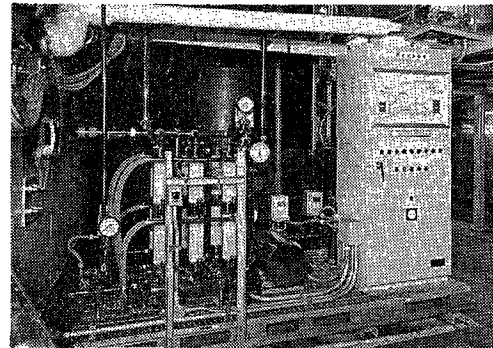
### セミコン・ジャパン'86出展

#### Exhibitions for SEMICON JAPAN '86

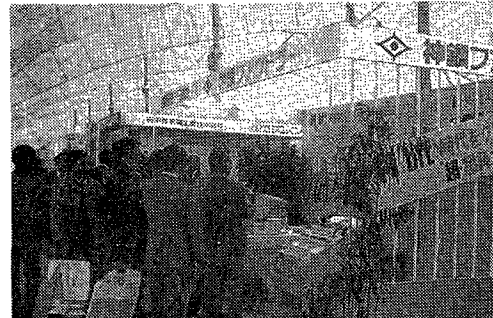
半導体製造装置・資材の展示会である「セミコン・ジャ



超微粒子計測装置  
Microparticle analyzer



生酒用濾過装置  
The ultrafiltration equipment for non-pasteurized sake



セミコン・ジャパン '86出展  
Exhibitions for SEMICON JAPAN '86

パン'86」が12月4日から6日まで3日間、東京・晴海で開催され、当社は初めて出展した。同展は今回で10回目を迎え、半導体関連企業868社が出展し、会期中51,000人の入場者があった。

当社は、新製品「超微粒子計測装置」、「超純水加熱装置」、「電解研磨パイプ」を2小間に出展した。今回、特に注目を浴びたのは、興和(株)と共同開発した超純水に残存する微粒子をアルゴンレーザーを使って計測する「超純水計測装置」。同種の計測装置としては、はじめて0.07ミクロンの超微粒子まで計測することができる画期的なものとして、連日多数の入場者が当社の小間を訪れた。